

## 平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームいくら

提案内容	提案名	楽しくおでかけ！このゆび止まれ
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームいくら
	提案内容	高齢者を対象にしたアプリを作成し、気軽に出かけることができるしくみをつくる
	概要	<p>◎鯖江にずっと住む高齢者のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者が助けを必要としている高齢者を支える</li> </ul> <p>◎アプリ「このゆびとまれ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすくシンプルな画面</li> <li>・「Live」機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒押すことで行政や家族に送られ、元気であることが分かり、ポイントも加算される</li> </ul> </li> <li>・「送って」「行くよ」「遊ぶ」の機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒施設への送迎や集まりへの参加など意思表示ができる</li> </ul> </li> </ul> <p>・アプリを活用して出かけるたびに「Live」が加算され、まちとつながって活動していることが分かる</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者同士で助け合うことで、元気な方はさらに元気に、体をこわした方も不自由なく過ごすことができる</li> <li>・まちで支えながら多くの人がつながる</li> </ul>	
具現化検討部署	長寿福祉課	
検討結果	判断	不採択
	採択内容	
	形態	
	採択年度	
事業詳細または不採択理由	<p>高齢者がスマートフォンやタブレット端末の利用がスムーズにでき、通信料等の維持費が安価で抵抗なく使える環境でないため、まだまだスマートフォンを利用しているの取り組みは困難である。</p> <p>市では、子どもから高齢者まで、町内等の小地域において見守り、支え合う小地域福祉ネットワークの構築(ご近所福祉ネットワーク活動)を目指しており、今後、この見守りネットワーク構築の中で、ICTの活用も検討していきます。</p> <p>また、昨年より高年大学では、シニアIT講座が開催され、iPadを使ってオープンデータやプログラミングにも取り組んでおります。今後も講座を開催する中で、高齢者が自らが使いやすいアプリの研究などを行うことで、今後の高齢者の見守り体制に活かせるよう高年大学と連携していきます。</p>	

## 平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チーム肉じゃが

提案内容	提案名	Labo!!さばえ
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チーム肉じゃが
	提案内容	合宿をして鯖江市を題材にした卒業論文を制作し、コンテストを行う
	概要	<p>◎鯖江市には卒業論文の題材が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データシティ最先端のまち</li> <li>・市民活動のまち</li> <li>・眼鏡・漆器・繊維などの産業のまち</li> <li>・ほかにも治水や雪害など</li> </ul> <p>⇒鯖江市全体が研究所</p> <p>◎鯖江で卒論を書くしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒論コンシェルジュ</li> <li>・インタビュー可能な市民をリストアップ</li> <li>・古民家の活用⇒地元の方との交流</li> </ul> <p>◎具体的なプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合宿を行う⇒参加者が情報交換できる</li> <li>・コンテストを行う</li> </ul>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪れた学生がまた鯖江に来たいと思うようになる</li> <li>・鯖江を研究する学生を通して市民が鯖江の将来に興味を持つ</li> </ul>	
具現化検討部署	秘書企画課	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	ゼミ単位で合宿を行う
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	今年度(H25年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	<p>学生滞在型まちづくり活動支援事業として、市に施策提言を行う「提案型まちづくり活動」、市内で合宿活動を行う「合宿型まちづくり活動」のほかに、平成25年度から、ゼミ研究で鯖江市に関係する内容をテーマとする学生が市で視察活動を行う「ゼミ合宿・ゼミ視察活動」に対しても1人1泊あたり1,500円を助成する制度を設けた。平成25年度は立命館大学等の学生5人が「市民主役事業」や「オープンデータ」をテーマに、受託者の「エル・コミュニティ」のコーディネートにより関係者に対するヒアリングを行い、その成果を取りまとめ市に報告予定。新年度においては、ゼミ研究のテーマに鯖江が取り上げられるよう、市の特徴ある施策等についてもPRする予定。</p>

## 平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームミント

提案内容	提案名	水のまち“さわえ”	
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームミント	
	提案内容	許佐羅江清水の炭酸水に菜花のエキスを加えて商品化する	
提案内容	概要	<p>◎鯖江の炭酸水、許佐羅江清水 ・船津七清水のひとつで、「福井のおいしい水」に認定</p> <p>◎炭酸水の効果 ・飲む効果・・・飲みやすく、便秘改善、ダイエット ・料理効果・・・根菜類が早くやわらかくなる ・入浴効果・・・血流が良くなる、高血圧に効く ・掃除効果・・・汚れが落ちやすい</p> <p>◎さばえ菜花とコラボ ・美容・健康に良い菜花と組み合わせて相乗効果</p> <p>◎ターゲットは美容・健康の意識が高い女性</p> <p style="text-align: center;">※第6回地域活性化プランコンテスト 最優秀賞・オーディエンス賞</p>	
	期待される効果	<p>・鯖江のイメージを「自然が豊かで健康的なまち」にする</p> <p>・購入した水を通して鯖江に観光客が訪れる</p>	
具現化 検討部署		農林政策課	環境課
検討結果	判断	不採択	一部採択
	採択内容		許佐羅江清水の水質の特色である炭酸を含んでいることをPRする。
	形態		新規事業として実施
	採択年度	開始年度未定	新年度(H26年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	事業化を希望するものがいれば、6次産業化チャレンジビジネス支援事業を活用し、農商工連携事業を支援することは可能であり、計画の規模によっては、ふくい産業支援センターの助成金等につなげることもできる。ただし許佐羅江清水の水利権、水量、さばえ菜花エキスの抽出、効能、事業の採算性、継続性など十二分な研究が必要。	「ふくいのおいしい水」に認定された、許佐羅江清水を含めた5つの清水の特徴などについて、各清水を守る団体等と連携して、市民(親子)を対象とした湧水・利き水会等の体験学習を通して啓発事業を展開する。炭酸水、アルカリ水など各清水の水質の特徴や地域の歴史・文化資源などを盛り込んだ湧水カラーマップを作成して、湧水をPRする。

## 平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームしらたま

提案内容	提案名	河和田の漆器を売る方法を考えました
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームしらたま
	提案内容	子どもがいる30代の女性をターゲットに漆器を売る
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎漆器×こども→「うつわ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康意識の高まり、育児出費のハードルが低い</li> </ul> </li> <li>◎ターゲットは子どもを持つ30代女性                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の安全に対する意識が高い</li> </ul> </li> <li>◎うつわの製作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発は市と問屋、職人の3者</li> <li>・製作は手作り、多様性</li> </ul> </li> <li>◎うつわの特長                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・食器や教材、贈り物として</li> </ul> </li> </ul>
期待される効果	・漆器に愛着を持ち、生活に根付く	
具現化検討部署	商工政策課	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お食い初め」の周知による子供向け漆器のPRを推進する。</li> <li>・子供用椀や箸に名前を入れることでギフト性を高めた商品展開を図る。</li> </ul>
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	今年度(H25年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	<p>新生児の生後100日頃に乳歯が生え始める。この時期に「一生涯、食べることに困らないように」との願いを込めて食事をする真似をさせる儀式として「お食い初め」があり、漆器の膳や器が用いられている。この儀式は、平安時代から伝わっている日本古来の伝統文化であるが、ライフスタイルの変化等によってその伝統が衰退しつつあることから、越前漆器伝統産業会館において、「お食い初め」をテーマとした展示を展開し、越前漆器の普及促進を図る。また、合わせて、子供用の器や箸などに名前を入れるオプションにより、よりギフト性を高めた商品展開を図る。</p> <p>「うるしの里かわだ元気再生プロジェクト」で計画されているおもてなしイベントの中でも実施できるよう検討していく。</p>

平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チーム五穀米

提案内容	提案名	鯖江セレクト図書分館
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チーム五穀米
	提案内容	JR鯖江駅の空きスペースを活用し、文化の館の分館として本の貸し出しを行う
提案内容	概要	<p>◎鯖江セレクト図書分館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の館の分館と位置づけ、選出した本の貸し出し・返却のサービスを行う →季節ごとに本を入れ替える</li> </ul> <p>◎本のセレクト方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近松文学賞の審査員と協力</li> <li>・市民の投票</li> </ul> <p>◎利用者層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民、通勤・通学者など →自習用の机も設置</li> </ul> <p>※第6回地域活性化プランコンテスト 優秀賞</p>
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅に行く楽しみが増える</li> <li>・JR鯖江駅周辺のにぎわい創出</li> </ul>
具現化検討部署	総務課・生涯学習課(文化の館)	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	鯖江セレクト図書分館
	形態	新規事業として実施
	採択年度	新年度(H26年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	<p>①文化の館(図書館)のセレクト分館的機能として 鯖江市図書館から季節ごとにセレクトした本を受け手の市民役団体に団体貸出し、運営団体が本の貸出・返却を行う。図書館職員の常駐はできない。但し、インターネット可能なPCを設置し、鯖江市図書館の蔵書検索ができるようにし、必要に応じた本を取寄せ可能。</p> <p>②「まちライブラリー」として 参加者で育てるライブラリー。企画から運営までを原則ボランティアの方で行う。「食」「地域」「本のある空間」として人と人が出会える場所にメッセージを付けた本を各自が持ち寄り設置された本棚に置く。メッセージを付けた本を媒介にしたコミュニティが生まれる。鯖江市図書館として運営等をアドバイス。 いずれの場合も、駅スペースの賃借、整備については総務課で検討、対応する。</p>

## 平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームムール貝

提案内容	提案名	もちマッチング～伝統×出逢い～	
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームムール貝	
	提案内容	「おこない」を通した男女の出逢いの場を提供する	
	概要	<p>◎市東部の「おこない」を通した出逢いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性が自分のIDがついた餅を投げる</li> <li>・女性は拾った餅に書かれたIDをウェブサイトで入力してプロフィールをゲットできる →ウェブサービス上で情報のやりとり</li> </ul> <p>◎ターゲットはパートナーのいない方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は鯖江市内の20代</li> <li>・女性は市内外を問わず20代</li> </ul> <p>時期:お盆や正月 場所:西山公園</p> <p>※第6回地域活性化プランコンテスト 優秀賞</p>	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おこない」という伝統が広まる</li> <li>・鯖江市が家族の愛にあふれたまちになり、活性化する</li> </ul>		
具現化検討部署	児童福祉課	商工政策課	
検討結果	判断	不採択	不採択
	採択内容		
	形態		
	採択年度		
	事業詳細または不採択理由	平成24年度から、提案型市民主役事業化制度で出会い交流事業を実施しており、年間を通じての婚活イベントやセミナーを行っているところであるため。	市東部で行われている「おこない」は神聖な伝統行事であり、行事の趣旨や意味合いを知ってもらう機会にはなるが、男女の出逢いの場のイベントとして地元理解を求め、受け入れてもらうことは非常に困難である。

平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームナポリタン

提案内容	提案名	SABA-Education
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームナポリタン
	提案内容	高校生が企画・立案して誠市の屋台経営を行う
提案内容	概要	<p>◎鯖江で育って良かったと思える ・「鯖江の〇〇に愛着を持っています」</p> <p>◎教育に注目 ・自分の頭で考えるという経験を高校生のころからしてもらいたい →鯖江を教育先進国に</p> <p>◎SABA-Education ・誠市の屋台の経営を高校生に一任 →マインド、スキル、知識、実践力が身につく ・地元の社長がメンターとして指導</p> <p>※第6回地域活性化プランコンテスト 優秀賞</p>
	期待される効果	・高校生が鯖江に愛着を持つようになる
具現化検討部署	商工政策課	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	<p>・誠市の屋台の経営を高校生に一任 →マインド、スキル、知識、実践力が身につく</p> <p>・地元の社長がメンターとして指導</p>
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定
	事業詳細 または 不採択理由	<p>現時点では、会場となる誠照寺内での既存の出店者により飽和状態にあり、新規での出店スペース確保が非常に困難な状況にある。</p> <p>提案内容については地元高校の協力およびメンターとなる企業の協力が不可欠であり、既に出店している業者の理解、協力も必要となる。出店そのものの実現性について誠市実行委員会において協議、検討していきたい。</p>

平成25年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームはんぺん

提案内容	提案名	電腦サバゲー～鯖江に若者を呼び込む～	
	提案者	第6回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームはんぺん	
	提案内容	西山公園やJR鯖江駅でCG映像を使ったサバイバルゲームを開催する	
概要	る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鯖江を戦場にしたサバイバルゲーム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者に人気(若者が集まるように)</li> </ul> </li> <li>◎電腦サバゲー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・AR(拡張現実)をつかったサバイバルゲーム                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→スマートフォンやタブレットを通して画面を見ることで実際には見えないものが映し出される</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">開催場所: JR鯖江駅、西山公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎鯖江でやる理由                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電腦メガネのまち                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→電腦メガネサミット</li> </ul> </li> <li>・ブランディングしやすい                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→SABAE(さばえ) SABAGE(鯖ゲー)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鯖江が若者のあふれるまちになる</li> <li>・鯖江市の知名度が上がる</li> </ul>	
具現化検討部署	情報広報課	商工政策課	
検討結果	判断	一部採択	不採択
	採択内容	ゲームのための、オープンデータを充実する。	
	形態	既存事業に組入れ	
	採択年度	新年度(H26年度)から実施	
	事業詳細または不採択理由	西山公園の写真や、動画をオープンデータとして公開する。アプリ作成は、民間に任せたい。	鯖江に若者が集客する内容ではあるが参加者が画面を通してサバイバルゲームを楽しむのみであり、実際に見えないものを市民が楽しめるイベントにはならない。西山公園の来場者やJR鯖江駅の利用者にも理解が得られない内容であると考える。